

## 健全化判断比率・資金不足比率

財政の健全度は、実質赤字比率などの4つの指標で判断されます。1つでも「早期健全化基準」を超えると黄色信号、「財政再生基準」を超えると赤信号（財政破綻）になります。令和3年度決算の本市の数値は、全ての指標で「早期健全化基準」を下回っています。

### ○健全化判断比率

	R3決算比率	早期健全化基準	比率の説明	R2決算比率	R元決算比率
		財政再生基準		県内市町村での本市の順位	
実質赤字比率	—	12.59%	一般会計の赤字割合を示すもの(赤字がないときは、算定されません)	—	—
		20.00%		全市町村で比率なし	
連結実質赤字比率	—	17.59%	全会計の赤字割合を示すもの(赤字がないときは、算定されません)	—	—
		30.00%		全市町村で比率なし	
実質公債費比率	3.2%	25.0%	一般会計における借入金返済額などの割合を示すもの	3.7%	4.1%
		35.0%		16位/ 63市町村	20位/ 63市町村
将来負担比率	—	350.0%	一般会計における将来支払う可能性のある負債割合を示すもの(充当可能財源が負債額を上回るときは、算定されません)	9.2%	13.6%
		—		23位/ 63市町村	28位/ 63市町村

※令和元年度・令和2年度の実質公債費比率と将来負担比率の順位は、県内全市町村で良い方から数えた順位です。

### ○資金不足比率

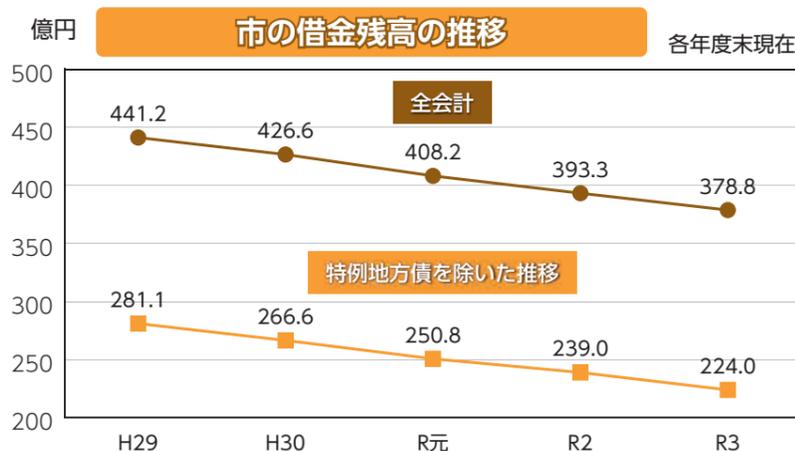
公営企業会計	R3決算比率	経営健全化基準	比率の説明	R2決算比率	R元決算比率
				県内市町村での本市の順位	
水道事業会計	—	20.00%	公営企業の事業規模に対する資金不足(赤字)割合を示すもの(資金不足がないときは、比率は算定されません)	—	—
公共下水道事業会計	—			県内全会計で比率なし	県内全会計で比率なし

※資金不足額や剰余額は、一般会計などの実質収支額と合算して、連結実質赤字比率を算定します。

## ～今の残高はどのくらい?～ 行田市の借金の状況を公表します

市の借金は、建設事業に充てる他、国の政策による交付税の財源不足や市税の減収を補てんするために借入れを行っているものがあります。こうした特例地方債は、国の財源不足を反映して増加傾向にあり、市の借金全体の約41%を占めるに至っています。

なお、市債の償還額が新規発行額を上回っているため、市の借金残高は年々減少しています。



※全会計：一般会計、水道事業会計、公共下水道事業会計

▶問い合わせ 財政課財政グループ (内線 325・326)

## 令和3年度に実施した主な新型コロナウイルス感染症対策事業

### 家計支援

- 子育て世帯を対象とした給付金給付事業 11億1,446万円  
子育て世帯臨時特別給付金、子育て世帯生活支援特別給付金、臨時特別出産祝給付金により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。
- 低所得世帯を対象とした給付金給付事業 6億630万円  
住民税非課税世帯等臨時特別給付金、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金により、低所得者世帯の経済的負担の軽減を図りました。

### 事業者支援

- 事業者に対する支援事業 1,154万円  
事業継続力強化計画策定奨励金、地域公共交通事業継続支援金により市内事業者の支援を行いました。
- プレミアム付商品券事業 9,700万円  
感染症の影響により落ち込んだ地域経済を活性化するため、プレミアム付商品券の発行により消費喚起を図りました。
- キャッシュレス決済促進事業 6,588万円  
キャッシュレス決済の普及を図るため、小売店の機器導入などの環境整備費用に対し補助金を交付するとともに、ポイント還元事業により消費喚起を図りました。
- 社会福祉施設・医療機関等感染拡大防止対策費補助事業 6,399万円  
社会福祉施設や医療機関などにおける感染防止のためのかかり増し経費に対し補助金を交付し、継続してサービスを提供できるよう支援しました。
- 主食用米次期作支援事業 4,067万円  
次期作に向けた水稻種苗費の購入費を補助し、農家の事業継続を支援しました。

### 小・中学校における対策

- 感染症防止用品購入事業 2,206万円  
小・中学校にアルコール消毒液、マスク、空気清浄機などを配備し、感染症拡大防止を図りました。
- 修学旅行取消料等補助事業 1,005万円  
修学旅行や林間学校のキャンセル料を補助し、保護者の経済的負担の軽減を図りました。

### その他の感染症対応

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 7億1,037万円  
ワクチン接種体制を整備し、集団接種会場や個別医療機関におけるワクチン接種を順次実施しました。
- 消防・救急活動感染対策事業 3,256万円  
自動式心マッサージ器、感染防止衣などを配備し、消防・救急活動における感染防止対策を実施しました。
- 公共施設自動水栓化事業 2,658万円  
保育園、学校、公民館などの各公共施設において、手洗い場の自動水栓化工事などを実施し感染症拡大防止を図りました。
- 自宅療養者生活支援事業 723万円  
新型コロナウイルス感染症による自宅療養者へ食料や日用品の提供などを行い、安心して療養生活を送れるよう支援しました。
- インフルエンザ予防接種助成事業 547万円  
新型コロナウイルス感染症との同時流行を防ぐため、インフルエンザ予防接種費を助成しました。